

ホタル特集

ホタルに魅せられて

初夏の訪れを告げるかのように淡い光を放ちながら飛び交うホタル。

特に生育状況の良かった今年は、町内のあちらこちらで美しく光るホタルを目にした方が多いのではないのでしょうか。

町内各地で行われた観察会などの様子を紹介します。



ふれあいの森



東部小学校



白沢ホタルの里



阿久比町では昭和58年から「ホタル飛ぶかうすみよい環境づくり」を目指し、町内に生息しているヘイケボタルの発生状況や生態などの調査研究を行っています。今年もヘイケボタルの生息分布調査を6月の下旬から小中学生をはじめ多くの皆さんの協力を得て行いました。

6月上旬から下旬にかけてはホタルに関連する多くのイベントが行われました。ふれあいの森「ほたる観察会」、白沢ホタルの里「ヘイケボタル観察会」、東部小学校「ホタル鑑賞会」など、訪れた人々はホタルを通じて、いま一度自然や命の大切さを考えることができましたのではないのでしょうか。

また、ふれあいの森体育室では「ほたるポスター作品展」を開催しました。小中学校の児童・生徒から、ホタル保護を啓発するポスターを募集し、優秀作品155点を展示しました。(4〜5ページに最優秀作品1点と優秀作品10点を紹介)

人々の心を癒すホタルの光を絶やさないためには、普段からの行動が大切です。ごみを捨てる、ポイ捨てをしない、川を汚さないなど、一つ一つは小さなことですが、続けていけばホタルや自然環境を守ることにつながります。

これからも、保護活動に取り組み、幻想的なホタルの光を後世に残すことが私たちの使命だと思えます。